

いずみの園そのだより

vol. 77
クリスマス号
2019.12.13



信望愛 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大なるものは愛である。 コリントの信徒への手紙 113:13

基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする
①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)



人生100年時代



社会福祉法人九州キリスト教
社会福祉事業団 理事長
中津総合ケアセンター
いずみの園 総務施設長

富永健司

厚労省によると2018年の日本人の平均寿命は男性81・25歳、女性は87・32歳になりました。1947(昭和22)年は男性50・06歳、女性53・96歳ですから戦後70年でほぼ30歳の長寿化が進み、日本は世界でも有数の長寿国となりました。2017年、英国の研究(ライフシフト100年時代の人生戦略)によると、2007年に日本で生まれた子どもの半数が100歳を超えるると推計し世界の注目を集めました。政府は2017年9月、安倍首相を議長として「人生100年時代構想会議」を設置、超長寿社会における経済・社会システムに関する議論が始まっています。100歳が現実味のある時代となりました。

最近、「99歳、母と暮らせば」というドキュメンタリー映画を見ました。71歳の次男と暮らす主人公は多少の認知症はありますが、息子と軽妙な会話を交わしお茶目で天真爛漫。我がままで時々、下の失敗もありますが、公民館で得意のハーモニカを演奏するのが楽しみです。ヘルパーやデイサービスを利用しながら、次男の優しい介護と地域の皆さんの見守りが主人公を支えていました。実は私の母もこの11月、100歳を迎えました。父の死後、10年独居生活を続けていましたが、認知症や入退院が重なり90歳の時、いずみの園に入所しました。特養の介護システムと介護員の温かいケアで、家族も驚く100歳が実現しました。超高齢社会、安心して暮らせる、安心して100歳を迎えられる社会が求められています。